



市議会だより

にほんまつ

第28号

9月定例会

平成24年11月1日発行
発行：二本松市議会
福島県二本松市金色403-1
Tel.0243-55-5143/Fax.0243-22-6047

委員会の構成が変わりました。

◎ 委員長 ○副委員長



総務常任委員会

堀籠新一 高橋正弘 本多勝実
平塚與志一 ○小林 均 ◎安部匡俊 市川清純



市民産業常任委員会

野地久夫 新野 洋 深谷勇吉
斎藤広二 ○菅野寿雄 ◎佐藤公伯 斎藤賢一



建設水道常任委員会

菅野 明 佐藤源市 安斎政保
○佐藤 有 ◎斎藤周一 鈴木利英



文教福祉常任委員会

中田凉介 浅川吉寿 熊田義春
○平 敏子 ◎五十嵐勝蔵 平栗征雄

平成23年度 一般会計・特別会計・企業会計 決算の認定 災害復旧等12億9千万円の補正予算を可決

定例会概要 2

決算審査特別委員会を設置 平成23年度決算を審査

特別委員会報告 4

行政課題の解決に向けて

各常任委員会審査報告

常任委員会報告 6

市の明日を考える

一般質問に14人が登壇

・介護予防の取り組みについて ほか

一般質問 8

災害復旧、安達中グラウンド夜間照明整備等 12億9千万円の補正予算を可決

二本松市議会9月定例会は、9月4日から25日までの22日間を会期として開催されました。

今回提出された議案は、平成23年度一般会計、特別会計、企業会計の決算認定や平成24年度一般会計補正予算、市条例制定など市長提出議案39件、議員提出議案1件でした。

これらを慎重に審議した結果、平成23年度一般会計など21件の歳入・歳出決算の認定及び平成24年度一般会計補正予算など18件の全議案は、全会一致で原案のとおり認定・可決されました。議員提出議案1件は賛成多数で可決されました。

人権擁護委員候補者の推薦についても全会一致で適任と認めました。

条 例

◎二本松市暴力団排除条例

暴力団の排除に関する基本理念を定め、市と市民等の責務を明らかにするとともに、基本的な施策を定めることにより、市民の安全で平穏な生活の確保と社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的に制定するもの。

◎二本松市介護保険財政安定化基金特例交付金基金条例

介護保険法の規定に基づく二本松市第五期介護保険事業計画の期間における第1号被保険者の介護保険料率の増加を抑えるため、二本松市介護保険財政安定化基金特例交付金基金を設置するもの。

◎二本松市税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正により所要の改正を行うもの。

◎二本松市税特別措置条例の一部を改正する条例

東日本大震災復興特別区域法の規定により、認定を受けた復興推進計画に係る一定の事業に用する施設等を設置した事業者に課する固定資産税について、地方税法の規定により課税免除を措置するため改正するもの。

◎二本松市市営住宅設置条例の一部を改正する条例

市営住宅の老朽化に伴い、その一部を用途廃止するため改正するもの。

◎二本松市下水道条例及び二本松市安達処理区及び岩代処理区下水道条例の一部を改正する条例

法令の一部改正に伴い、除害施設の設置排水基準について改正するもの。

業費割当額決定等による必要な措置、東日本大震災復興交付金事業に関する措置、災害復旧に要する措置などを主として行うためのもので、現予算の総額に歳入歳出それぞれ1,288,042千円を追加し、予算額を44,726,616千円としたもの。

【歳入の主なもの】

○総務費

- ・財政調整基金積立金の増額 620,000千円
- ・東日本大震災復興交付金基金積立金の増額 19,300千円
- ・道の駅「安達」上り線駐車場整備事業の増額 10,411千円
- ・名目津温泉貯水槽修繕費の増額 6,573千円

○民生費

- ・介護給付事業の増額 21,516千円
- ・特老羽山荘敷地崩落箇所調査費の増額 3,751千円

○衛生費

- ・不活化ポリオワクチン接種事業の増額 21,000千円

○農林水産業費

- ・用排水路等補修事業の増額 5,000千円

○商工費

- ・竹田根崎通り商店街灯整備事業補助の増額 4,350千円

○土木費

- ・社会資本整備総合交付金事業（道路整備）の増額 28,000千円
- ・社会資本整備総合交付金事業（橋梁補修）の増額 20,000千円
- ・一般市道整備事業の増額 10,000千円

○消防費

- ・阿武隈川築堤工事に伴う防災関連倉庫移転事業の増額 3,350千円

○教育費

- ・中学校冬期リフレッシュ体験活動事業（スキー教室）の増額 8,395千円
- ・中学校体育館修繕事業の増額 7,731千円
- ・仮称にいどのこども園整備事業の増額 31,703千円
- ・安達中学校グラウンド夜間照明設備

整備事業の増額 45,405千円

○災害復旧費

- ・道路災害復旧事業（凍上災）の増額 271,544千円
- ・市営住宅除染事業の増額 46,485千円

【歳入の主なもの】

- 地方特例交付金の減額 △2,205千円
- 普通交付税の増額 189,600千円
- 前年度繰越金の増額 564,627千円

◎二本松市国民健康保険特別会計補正予算

前年度繰越金の確定により補正したもの。

◎二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算

前年度繰越金の確定による広域連合納付金等の精算措置。

◎二本松市介護保険特別会計補正予算

保険事業勘定及び介護サービス事業勘定とも前年度繰越金が確定したことによる補正措置。

◎二本松市公設地方卸売市場特別会計補正予算

◎二本松市岩代簡易水道事業特別会計補正予算

◎二本松市安達下水道事業特別会計補正予算

◎二本松市岩代下水道事業特別会計補正予算

◎二本松市水道事業会計補正予算

◎二本松市下水道事業会計補正予算

その他

◎指定管理者の指定

二本松市市民交流センターの指定管理者を「特定非営利活動法人まちづくり二本松」としたものを。

◎財産の取得

安達ヶ原ふるさと村に設置される屋内遊び場に遊具備品を取得するもの。

◎人権擁護委員候補者の推薦

佐藤徳江さん（太田・再任）を適任と認めました。

◎閉会中の委員会所管事務継続調査

市民産業常任委員会が、「放射線対策について」、「農産物のブランド化と6次産業について」、「観光交流人口の増加対策について」の3件を調査するため、平成26年6月30日までの期間、継続調査することに決定しました。

補正予算

◎二本松市一般会計補正予算

普通交付税本算定結果による歳入の補正、前年度繰越金確定による健全財政運営を図るための措置、国県補助事

○市長から提案された議案と審議結果

議案番号	件 名	結 果
第68号	平成23年度二本松市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第69号	平成23年度二本松市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第70号	平成23年度二本松市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第71号	平成23年度二本松市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第72号	平成23年度二本松市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第73号	平成23年度二本松市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第74号	平成23年度二本松市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第75号	平成23年度二本松市佐勢ノ宮住宅団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第76号	平成23年度二本松市安達簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第77号	平成23年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第78号	平成23年度二本松市東和簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第79号	平成23年度二本松市安達下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第80号	平成23年度二本松市岩代下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第81号	平成23年度二本松市茂原財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第82号	平成23年度二本松市田沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第83号	平成23年度二本松市石平財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第84号	平成23年度二本松市針道財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第85号	平成23年度二本松市工業団地造成事業会計決算の認定について	原案認定
第86号	平成23年度二本松市宅地造成事業会計決算の認定について	原案認定
第87号	平成23年度二本松市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
第88号	平成23年度二本松市下水道事業会計決算の認定について	原案認定
第89号	二本松市暴力団排除条例制定について	原案可決
第90号	二本松市介護保険財政安定化基金特例交付金基金条例制定について	原案可決
第91号	二本松市税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第92号	二本松市税特別措置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第93号	二本松市営住宅設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第94号	二本松市下水道条例及び二本松市安達処理区及び岩代処理区下水道条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第95号	二本松市市民交流センターの指定管理者の指定について	原案可決
第96号	財産の取得について	原案可決
第97号	平成24年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第98号	平成24年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第99号	平成24年度二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第100号	平成24年度二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決
第101号	平成24年度二本松市公設地方卸売市場特別会計補正予算	原案可決
第102号	平成24年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
第103号	平成24年度二本松市安達下水道事業特別会計補正予算	原案可決
第104号	平成24年度二本松市岩代下水道事業特別会計補正予算	原案可決
第105号	平成24年度二本松市水道事業会計補正予算	原案可決
第106号	平成24年度二本松市下水道事業会計補正予算	原案可決

○議員提出議案とその審議結果

議案番号	件 名	結 果
第 8 号	オスプレイの配備と市内上空での低空飛行訓練の中止を求める意見書の提出について	原案可決

平成23年度各会計決算を認定

平成23年度の一般会計、特別会計及び企業会計決算は、第6回市議会9月定例会に上程され、9月10日に議長及び議会選出の監査委員を除く24人の委員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、堀籠新一委員長、熊田義春副委員長のもと、18日から21日の4日間にわたって審査を行いました。

特別委員会の審査では、東日本大震災に係る対策、原発事故に係る健康被害対策や除染対策等、23年度の行財政運営の実績や各施策の効果などについて活発な質疑を交わし、全会計の決算を認定しました。

決算審査の概要

一般会計決算

【歳入】

問 入湯税の減免があるが、その内容は。

答 震災避難者の2次避難先で岳温泉等が利用された際の、避難者分を減免とした。

【歳出】

総務費

問 地域づくり推進事業の、実施地区及び内容は。

答 市内各地域から66件の申請があり、文化伝承・防災・衛生等各地区で決定した内容で実施された。

問 昨年1年間で緊急雇用創出基金事業を活用し、雇用された臨時職員の人数は。

答 県補助金対象者62人、市単独事業として16人を雇用した。

問 生活路線バスの維持対策及びコミュニティバスの運行実績は。

答 福島交通等18路線への運行補助を行い、コミュニティバスは、安達6コース、岩代20コース、東和20コースを運行した。

民生費

問 罹災・被災証明の発行状況は。

答 罹災証明14,572件、被災証明29,624件の合計44,196件を無料発行した。

問 温泉等保養健康増進事業の対象年齢と利用状況は。

答 68歳以上の対象者に、利用券(2,500円)2枚を配付。利用率は、58.7%。

問 ようたすカーの利用状況は。

答 年間利用者数、延べ11,053名。244日稼働で1日当たり45名の利用。

衛生費

問 生活用水確保対策事業の実施状況は。

答 二本松地域18件、安達地域8件、岩代地域32件、東和地域18件の合計76件の井戸ボーリング補助を実施。

問 各地区放射線量測定場所の決定方針は。

答 基本は公共施設とし、各住民センターと補完施設とした。測定は高さ1m。

農林水産業費

問 学校給食二本松産米導入事業の予算は全額執行されたのか。

答 平成23年度は原発事故の影響もあり、予算を全額執行することはできなかった。平成24年度は地場産食材の使用に向け努力する。

問 有害鳥獣捕獲活動事業の内容は。

答 イノシシの捕獲に対し一頭2万円を支給。実績は、二本松地域8頭、安達地域7頭、岩代地域70頭、東和地域56頭の計141頭を捕獲した。

商工費

問 日本一の桜の郷推進事業の目標達成率は。

答 平成21年度から開始し、平成23年度で目標の1万本は植樹した。生育の関係もあり事業は継続し、情報発信をしていきたい。

土木費

問 住宅復旧資金助成事業の実施状況は。

答 申請件数974件のうち602件が平成23年度で完了した。残りは、平成24年度中に完了予定。

問 木造住宅耐震化促進事業の実施状況は。

答 平成23年で18件を実施。耐震化に向け耐震診断成果品を対象者に渡している。

問 除雪対策費が前年対比で2,000万円の増額となったがその内容は。

答 委託契約業者・除雪機台数の増加及び除雪出动回数が増などにより増額となった。

消防費

問 放射線量低減化活動支援事業の実施状況は。

答 二本松33団体、安達10団体、岩代40団体、東和35団体の計118団体で実施。

教育費

問 小・中学校の耐震化率は。

答 平成23年度末現在で68.1%。残りは平成24年度及び25年度に実施予定であり、平成25年度末には、耐震化率100%となる予定である。

災害復旧費

問 汚染表土除去に係る財源は。

答 3分の2が補助金、残り3分の1は交付税により補填される。

特別会計決算

国民健康保険特別会計

問 原発事故に係る免除等の状況は。

答 6,674件3,900万円分が震災免除となった。免除額3,900万円は全額国の負担となる。

公設地方卸売市場特別会計

問 公設地方卸売市場の看板が破損している。

答 早急に修繕対応する。

安達・岩代・東和簡易水道事業特別会計

問 飲料水の放射性物質検査の実施状況は。

答 福島県水道企業団において週1回実施。

企業会計決算

工業団地造成事業特別会計

問 小沢工業団地の残地状況は。

答 23年度末で、2区画27,000㎡が未契約。平成24年度において1区画は売買契約締結となった。

水道事業会計

問 営業収益が520万円減額となったが内訳は。

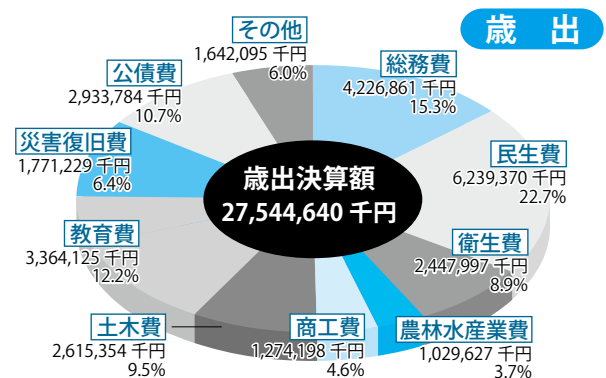
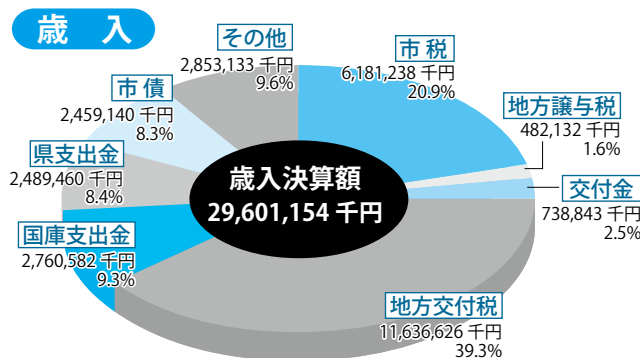
答 小口契約者は増加したが、使用水量30トン以上、特に500トン以上使用の大口契約者である企業の使用水量の減少がみられた。

下水道事業会計

問 事業実施全体計画の見直しの中身は。

答 安達区域の見直しを検討。

◎ 一般会計決算 ◎



特別会計決算

(単位：千円)

区 分	国民健康保険		後期高齢者 医 療	介護保険		土地取得	公設地方 卸売市場	工業団地 造成事業
	事業勘定	直診勘定		保険事業勘定	介護サービス事業勘定			
歳 入	6,533,474	125,713	496,230	4,409,739	16,996	201,679	11,455	243,865
歳 出	6,193,874	123,632	494,480	4,332,766	10,830	201,679	9,777	243,865
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	2,845	0	0	0	0
実質収支額	339,600	2,081	1,750	74,128	6,166	0	1,678	0

区 分	佐勢ノ宮住宅 団地造成事業	安達簡易 水道事業	岩代簡易 水道事業	東和簡易 水道事業	安達下水 道 事 業	岩代下水 道 事 業	茂 財 産 区	原 田 財 産 区	沢 石 財 産 区	平 針 財 産 区	道 道 財 産 区
歳 入	34,185	25,280	155,764	278,962	253,487	65,778	1,819	317	3,337	254	
歳 出	34,185	25,280	155,661	278,856	252,543	65,760	1,297	204	3,182	186	
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	0	944	0	0	0	0	0	0
実質収支額	0	0	103	106	0	18	522	113	155	68	

企業会計決算

(単位：千円)

区 分		工業団地造成事業	宅地造成事業	水道事業	下水道事業
収 益 的	収 入	0	0	1,002,510	644,002
	支 出	—	—	891,480	637,240
資 本 的	収 入	—	—	306,784	371,360
	支 出	—	—	644,376	602,832

常任委員会の審査報告

総務常任委員会

二本松市一般会計補正予算について

問 地域振興整備基金の積立金では、ふるさと納税等の件数と納付額はいくらか。

答 合併後、これまでのふるさと納税等は、71件、885万9千円、復興応援寄付金は、現在まで、248件、7,344万2千円である。

問 復興応援寄付金の使途について、どのような考えをもっているのか。

答 これまで、子どもたちへのリフレッシュ事業等に充当してきた。今後も市の復興のために有効に活用していく。

問 道の駅上り線のガソリンスタンド跡地の利用は、どのようにするのか。

答 駐車場として整備し、利用していく。

問 整備する駐車スペースは何台になるのか。

答 33台分のスペースとなる。



道の駅安達上り線駐車場整備等の説明を受ける様子

市民産業常任委員会

二本松市一般会計補正予算について

問 市で保有する放射能測定サーベイメーターは、定期的に更正しなければならないのか。

答 今回更正するNaI(エヌエイアイ) シンチレーションサーベイメーターは、国の基準器として定められており、正しい値を測定する上でも、定期的に検査、更正をしなければならないものである。

問 用排水路補修事業について、今回、何月までの調査箇所を対象としているのか。

答 7月末までの調査箇所について対応する考えである。

問 竹田根崎通りへの街路灯設置について、デザインも含めどのような考え方で設置されるのか。

答 竹田根崎通りは、関係者の協議により景観づくりを進めてきた経過がある。今回の街路灯は、基本的には商業灯であり、街の賑わいづく

りを目的として、最終的なデザインは地元協議で決定される。今回街路事業が進み、道路工事と合わせて、今年度中に街路灯の整備を行うことになったものである。



草地除染ほ場現地調査の様子

9月10日に付託された各議案は、9月13日～14日にかけて、各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日25日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員会での審査の主な内容をお知らせします。

建設水道常任委員会

二本松市一般会計補正予算について

問 下山田団地10戸の除却後の跡地利用について、どのような計画があるのか。

答 現在策定を進めている公営住宅等長寿命化計画の中で、今後の利活用を検討したうえで、当該敷地が必要である場合は、計画に沿った活用を図って参りたい。

問 安達地域において更新していない石綿セメント管は、どの程度か。

答 石綿セメント管の更新は、平成22年度から着手したところである。平成23年度終了時点での残延長は、12.49kmであり、計画延長14.5kmに対し86.1%が未施行となっている。



市営住宅(芳池団地)施設災害復旧事業の現地調査の様子

文教福祉常任委員会

二本松市一般会計補正予算について

問 新殿地区における「こども園」整備のため、委託料が補正となった経過は。

答 杉沢保育所、新殿幼稚園及び旭幼稚園は、施設の老朽化が進むとともに、入所・入園する児童が減少傾向にある。また、杉沢保育所と旭幼稚園については、災害等の危険区域内に立地していることから、3施設を統合し、新殿地区に「こども園」を建設することとなったため、設計委託料等の補正を行ったものである。

問 安達中学校のグラウンドに夜間照明設備を設置するとのことだが、設置する位置はどこか。

答 軟式野球ができるように、グラウンド西側を中心に設置する。



羽山荘敷地崩落箇所の説明を受ける様子

一般質問

市の明日を考える!

9月定例会の一般質問は、9月10日から13日の4日間にわたり14人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。

[発言順]

平 敏 子

[日本共産党二本松市議団]



- ①介護予防の取り組みについて
- ②第1回二本松市一周駅伝競走大会について

問

- ①①各地区での実施と参加状況は。
- ②運動機能向上教室「足腰シェンシャン体操」の実施状況と住民センター単位できめ細かく実施できないか。
- ②①目的は。
- ②大会規模は。
- ③予算は。
- ④小・中学生参加の引率、輸送などの経費と責任は。
- ⑤教育委員会からの通知は学校への強制にならないか。

答

- ①①主に運動や口腔機能向上、認知症予防で実施。昨年度実績で20教室223回、延べ3,554名参加。
- ②年間6会場、1会場12回119名が参加。現在の開催方法を継続。
- ②①市民の絆を強め、体力向上、底辺拡大と選手育成。
- ②小学生から一般のチーム編成。
- ③既定予算として120万円措置。
- ④参加チームの責任。
- ⑤あくまでも参加案内の趣旨であり、市内高校、ランニングクラブ等団体への開催通知と同一。

安 斎 政 保

[市 政 会]



- ①一般住宅除染について
- ②水田除染について

問

- ①今回の除染は、二本松市復興支援事業協同組合を設立して、そこに委託するやり方だと聞いているが、今後、個人が業者を頼んで行ったり、個人で行う方法など、現実的に行う考えはあるのか。
- ②損害賠償問題は、いまだ何の情報もなくたいへん不安であり、遅れば遅れるほど来春の作付にも大きな影響があり、農村地域の存続にもかかわってくるが、損害賠償問題は進展しているのか。

答

- ①東京電力の賠償については、結論がまだ出ておらず国ではその費用について、いまだ除染対策事業交付金を充てられない状況。制度化にあたっては、市一般財源で措置するため現在慎重に検討し、なるべく早い時期にとは考えている。
- ②金額及び請求の手続き等、具体的な内容は、まだ示されていない。本格的な収穫期を迎えるので、早期に賠償がなされるよう、国、県及び東京電力に対し、引き続き強く要請していく。

高橋 正弘

[あぶくま会]



- ① 原発事故による放射線量と健康対策について
- ② 山林・森林、原野等の除染について

問

- ① 個人積算線量計の配布状況と今後の対策は。



個人積算線量計

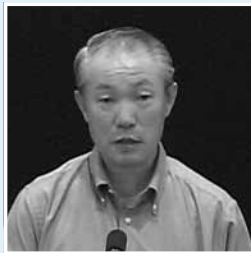
- ② 山林の除染、国では30年間で実施の方針だが、市ではどうするのか。

答

- ① 乳幼児、小中学生、妊婦の該当者7,633人全員に、高校生及び40歳以下の女性は、希望者548人、合計8,181人に配布した。回収は76.1%、6,226人分を分析し測定値の平均が2カ月で0.2から0.25ミリシーベルトだった。今後は、数値の高い方には、詳細な聞き取り調査を実施する。
- ② 現在進めている生活圏から20メートルの範囲を優先に、市街地や住宅密集地に隣接する森林の枝打ち、堆積有機物の除去を中心に行う。

菅 野 明

[日本共産党二本松市議団]



- ① 原発事故対策について
- ② 市長の政治姿勢について

問

- ① 畜産対策について、堆肥処理の見通しはどうなっているか。
- ② アメリカのオスプレイ沖縄配備と、全国各地での低空飛行訓練に反対の声が上がっている。計画では、本市阿武隈山地上空が「グリーンルート」とする訓練ルートになっている。市民の安全を守るため、オスプレイの配備と市内上空飛行に「反対」の立場を国に示すべきでは。

答

- ① 8000ベクレル超の堆肥・稲わらの一時保管は平成23年事業分はほぼ終了し、残分は24年度事業として10月中には終了予定。400から8000ベクレルまでの処理は、市での処分とされているが方法が確立されていない。原則、農家毎の一時保管で当面行い、費用は県農業系汚染廃棄物処理事業補助金を活用することで協議する。
- ② 国民の懸念に可能な限り応え、安全性の確認ができない限り日本での飛行運用はすべきでない。

深谷 勇吉

[真誠会]



- ① 牧草地の除染について
- ② 旧二本松の保育所について(かすみが丘・まつが丘保育所)

問

- ① 反転耕等の作業状況とその効果は。



草地除染作業の様子

- ② かすみが丘・まつが丘保育所は長期総合計画の中でどのような位置付けで、今後どう進めるのか。また、現在の保育所に駐車場拡張は考えられないか。

答

- ① 除草、空間線量の測定、土中放射性物質測定、土壌改良剤の散布、反転耕、土壌成分分析、砕土、堆肥散布、耕転、空間線量測定、土中放射線量測定、播種・鎮圧、土壌成分分析をする。反転耕を行った場合、88%から95%低減した。
- ② 今後の進め方は、平成24年度に位置選定、25年度に基本計画、実施設計、26年度に建設、27年度に施設開所を行う。駐車場の拡張は用地の確保が困難なため考えていない。

菅 野 寿 雄

[市 政 会]



- ①放射能被害から畜産業を守る取り組みについて
- ②学校給食について

問

- ①①放射能汚染堆肥(400ベクレル超8,000ベクレル以下)処理事業の進捗状況と予算化の時期は。
- ②廃用牛集畜対策の進捗状況は。
- ②①一食分の放射能検査を行い、その結果を公表する考えはないか。
- ②②地場産食材の利用計画をお示し願いたい。

答

- ①①市の責任で、農家ごとの一時保管により当面の処理を行い、予算は県補助金を活用することとしている。現在12月補正予算提案に向けて作業中である。
- ②②県が買い上げ方式を認めたので、JAが希望頭数の取りまとめを進めることとなった。
- ②①放射能測定器を更新した段階で一食分検査の結果も公表する。
- ②②米については、平成24年産米から、放射能未検出となった市内産米を利用して参りたい。

平 栗 征 雄

[市政刷新会議「創松未来」]



- ①市民プール建設について
- ②スカイピアあだたらの温泉保養館について

問

- ①学校の耐震補強工事が終了した時点でプール建設に取り組んでほしいし、検討委員会を立ち上げ後、どのような意見が出たか。



駐車場も狭い市民プール

- ②午前・午後とかの時間制限や一日利用料500円という料金の改定についてはどうなっているか。

答

- ①二本松市スポーツ施設整備検討委員会の報告が昨年11月にあった。施設内容は屋内プールとし、25メートルプールで採暖室や幼児向けプール等も考える。整備位置については財政の見地から市有地施設管理の効率性、市民の利便性で城山総合グラウンド近隣を考えている。
- ②利用時間の制限と料金の改定については、利用状況の推移もみながら、休憩室の増設にあわせた条例の見直しを予定している。

小 林 均

[公 明 党]



- ①住基カード普及と「コンビニでの証明書の交付」について
- ②いじめ問題について

問

- ①①住基カード普及の現状と、今後の多目的利用等の普及対策は。
- ②②コンビニにおける証明書等の交付サービスに来春から2社が参入し、3万店に取扱い店舗数が増える。この機会に本市でも参加を検討すべきと考えが。
- ②①いじめ根絶チームの現状・成果。
- ②②いじめ問題への対応について市民・保護者への周知を図るべし。
- ③③被害者の保護、加害者への措置、両者の心のケア、再発防止等いじめ対処の原則の徹底が重要。

答

- ①①普及率は約1.8%と低迷している。多目的利用は費用対効果を見極めながら検討する。
- ②②コンビニ交付サービスの提供は導入を検討する時期に来ている。マイナンバー法案の動向と、費用対効果等の問題をクリアしながら積極的に推進していく。
- ②①年2~3回開催。いじめ問題の未然防止と根絶に寄与している。
- ②②市民や保護者への啓発を図る。
- ③③被害者の保護を最優先に取り組み、適切に対応していきたい。

佐藤 源 市

[あぶくま会]



- ① 自主避難者の実態と今後の対応について
- ② 地域づくり推進事業について

問

- ① ①本市の県内外への自主避難者の実態について。
- ② ②県外避難者への支援対応について。
- ② ②市民との協働による地域づくり推進事業の取り組み状況及び次年度事業費拡大について。



地域づくり推進事業で整備された中島の地蔵桜

答

- ① ①就学前児童192人、小学生86人、中学生12人、その他328人。このうち県外避難者600人である。
- ② ②予防接種や乳幼児検診等は避難先に依頼し、実施している。成人検診、妊婦検診も避難先の医療機関で受診可能とした。また、広報紙配布、各種申請書の送付を行っている。
- ② ②23年度は生活環境保全、地域文化、防災対策など66件、本年度は79件採択し、次年度はこの成果をふまえ、事業を継続する。

五十嵐 勝 蔵

[真 誠 会]



- ① 二本松駅南地区の整備計画について
- ② 駅南住環境整備について

問

- ① ①二本松駅南側駅前広場整備、駅前広場と向原上竹線を結ぶ幹線道路及びその他の道路網整備の基本方針は。
- ② ①向原上竹線1工区への街路灯増設は。
- ② ②防火水利の確保は。
- ③ ③公衆トイレの設置は。

答

- ① ①現在、事業を進めている安達駅周辺整備事業完了後、全体的に検討を加えていく。なお、都市計画道路向原上竹線2工区整備と、市営住宅茶園団地の建替事業に全力を挙げて事業を進める。
- ② ①今年度事業の中で、新たに2基設置する。
- ② ②向原上竹線沿線への防火水槽設置は、地元消防団とも十分協議のうえ検討する。
- ③ ③下成田地区の開発の動向を含め、総合的に検討する。

本 多 勝 実

[市政刷新会議「創松未来」]



- ① 原発事故による放射能被害対策について
- ② 財政計画について

問

- ① ①現在の本市市民の被ばく線量は、チェルノブイリ事故では移住権利ゾーンとなる年間1ミリシーベルトを超える。この状況を本市の放射線対策アドバイザーはどのように判断しているのか。
- ② ②国が示す除染方法では効果は十分ではない。屋根、雨どいの交換も検討すべきではないか。
- ② ①工業団地はいくらで造成して、いくらで分譲するのか。なぜ財政計画に盛り込まないのか。
- ② ②長期の財政計画を作成すべき。

答

- ① ①「避難、移住のリスクを総合的に判断すると、健康管理対策を充実させ生活していくことが重要である」との助言である。
- ② ②屋根、雨どい交換が有効であると判断した時点で国と協議する。国がだめだという場合、損害賠償等の方法を考える。
- ② ①財源、手法等検討中のため、財政計画に盛り込めていない。
- ② ②事業実施の裏付けとして財政計画を示すため3年分しか示せない。

安 部 匡 俊

[あぶくま会]



- ①住宅除染の進捗状況と今後の計画について
- ②財政健全化について

問

- ①①8月末まで発注された配分数と進捗状況について。
 - ②5千戸の残数発注の時期と、残り1万4千戸の実施計画について。
 - ③優先順位に含まれない一般住宅の除染について、個人発注の経費は市に請求できるのか。
- ②23年度の実質公債費比率が15.2%となった要因は。

答

- ①①二本松1,829、安達46、岩代277、東和129世帯中、118世帯の除染作業は完了。
 - ②9月中の発注を目標とし、線量の高い所から地区ごと面的に実施する。
 - ③一般財源で措置するが、制度化に向け慎重に検討している。
- ②市政改革を推進し、財政健全化を進めるうえで、決算剰余金等を活用して借入利率の高い市債等の繰上償還を積極的に行い、後年度の元利償還金の額を低く抑えた。

斎 藤 広 二

[日本共産党二本松市議団]



- ①住宅リフォーム助成制度の継続について
- ②再生可能エネルギーの普及について

問

- ①①現在までの申請と実績。この事業の評価は。
 - ②市内業者の仕事確保と工事金額の地域内循環のために継続を。
- ②①大飯原発を再稼働した関西電力の需給は、原発なしでも264万kW（原発2.5基分）余裕があった。夏の電力需給への市長の見解と太陽光発電の市内での実績。公共施設への取組みは。
- ②太陽光発電への市独自の補助金制度（県内市町村の7割実施）創設は。

答

- ①①8月末現在138件。工事額は補助金2,202万円の15倍、3億4,470万円で地域経済の活性化に効果があった。
 - ②当初2年間の事業であったので本年度で区切りをつけたい。
- ②①東北電力も原発なしで需給は95%以下。節電等により脱原発は可能。現在までに160件700kW。すべての市内公共施設への設置を目標に進める。
- ②県の補助充実、電力の買取り制度ができたので行わない。

新 野 洋

[市政刷新会議「創松未来」]



- ①各地区整備事業における基本方針について
- ②高線量エリアの除染計画について

問

- ①安達駅周辺整備事業・杉田地区まちづくり構想・下成田地区計画の優先順位及び市全体計画の中での位置付けと政策効果をどのように判断しているのか。
- ②六角川、鯉川等住宅密集地を流れる河川沿いの住民から、高い放射線量が報告されている。また、親水スペースには泥が溜まっている。そして石井・杉田・小浜等にある高線量地区等、これらの除染と今後の対応について伺う。

答

- ①安達駅・杉田駅とその周辺部を、中心拠点を補完する「サブ拠点」として位置付けし、下成田は土地区画整理事業の都市計画決定解除に取り組んでおり、地区計画で良好な住環境の整備を図りたい。
- ②六角川・鯉川は県管理であり、県土木事務所に対し除染費用を早急に確保し、早急の除染を行うようさらに要望していく。石井、杉田、小浜等にある高線量エリアは、妊婦、子供がいる5千世帯を発注した後、地区ごとに実施していく。

9月定例会賛否一覧

※これ以外の議案は全会一致で認定・可決されています。

議員名	議決結果	賛成：反対	平塚興志一	熊田義春	安斎政保	深谷勇吉	菅野寿雄	堀籠新一	佐藤公伯	佐藤勝実	本多明	菅野涼介	中田均	小林匡俊	安部吉寿	浅川敏子	平野久夫	野地広二	斎藤源一	高橋正弘	鈴木利英	市川清純	五十嵐勝蔵	平栗征雄
議員提出議案第8号 オスプレイの配備と市内上空での低空飛行訓練の中止を求める意見書の提出について	原案可決	14：11	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	●	●	●	●	○	●

※○は賛成、●は反対。

※議長（斎藤賢一）は採決に加わっていません。

討論

議員提出議案第8号

オスプレイの配備と市内上空での低空飛行訓練の中止を求める意見書の提出について

平 敏子 議員

賛成

アメリカでは墜落や騒音、観光への影響で訓練の先送りや撤回が続いている。

日本では国内法の環境アセスが適用除外され、オスプレイの訓練が自由勝手に行われる。本市の岩代・東和の上空を飛行する計画であり、認めることはできない。

オスプレイの配備は、日米安全保障条約に賛成の首長や議員も反対している。「意見書」を採択することは、原発で被災し影響を心配する市民に寄り添った議会として当然である。

安部 匡俊 議員

反対

オスプレイの配備と試験飛行の運用基準が日米間で合意しており、また日米安全保障条約に基づき、在日米軍の軍用について合意された件について国家安全保障上、地方の意見によって左右されれば、日米同盟は有事の際、機能しなくなるおそれがある。

日米安保条約を堅持し我が国の安全保障を確保していく上で、なおも尖閣諸島を中国の攻勢からと無法国家からの脅威から我が国を守るため、極めて重要な配備機種と考え、日本国民の安全確保は当然とし、反対する。

平成24年第5回（7月）臨時会

7月臨時会が、7月20日に開催されました。提出された議案は、工事委託契約締結等3件で、審議の結果、全議案、原案のとおり可決されました。

また、議会推薦の二本松市農業委員会委員には、下記のとおり4名を推薦しました。

◎工事委託契約締結

橋梁整備事業菅田橋架替工事（旧橋撤去工事）について国土交通省東北地方整備局に委託する契約を締結するもの。

◎財産の取得

学校給食用放射性物質検出器を13台購入するもの。

◎平成24年度二本松市一般会計補正予算（386,340千円）

（主なもの）

○総務費

東日本大震災復興交付金の第2次配分を受けての復興交付金基金積立金の増額 13,603千円

○民生費

介護福祉専門学校多目的広場等除染委託料の増額 5,300千円
安達ヶ原ふるさと村を活用した子ども屋内遊び場整備事業の増額 88,549千円

○農林水産業費

畜産飼料生産草地の除染事業委託料の増額 275,000千円

○教育費

市内中学生と在京大学生との交流リフレッシュ活動事業の増額 3,888千円

◎二本松市農業委員会委員の推薦について（議会推薦の4名の方々）

- ・鈴木賢一さん（杉田）
- ・服部栄一さん（油井）
- ・菅野富子さん（長折）
- ・佐藤幸雄さん（戸沢）

市議会ホームページ

市議会の活動を分かりやすくお伝えするためにホームページを開設しています。ぜひご覧ください。

<http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/site/gikai/>

ホームページでは次の情報などがご覧いただけます。

- 市議会のしくみ
- 議員名簿
- 議会中継
- 会議結果一覧
- 議会だより
- 会議録検索システム

※ホームページは二本松市のホームページ内にあります。

訂正とお詫び

8月1日発行の「市議会だより」にほんまつ第27号」12頁の小林均議員の一般質問の記事に誤りがありました。次のとおり訂正し、深くお詫びいたします。

質問のタイトル

- ①社会資本ストックの計画的な維持・更新の推進について
- ②通学路の安全対策について

議会傍聴

9月11日、二本松公民館高齢者学級（松寿学級）の皆様72名が傍聴に訪れました。



議会の動き（7～9月）

7.	3	全国市議会議長会地方財政委員会
	5	群馬県高崎市議会会派行政視察受入
	6	会派代表者会
	9	にほんまつ市議会だより編集委員会
	11	会派代表者会
	11	安達地方地域振興懇談会
	12	全国市議会議長会第188回理事会
	17	にほんまつ市議会だより編集委員会
	20	平成24年第5回（7月）臨時市議会
	20	議員協議会
	23	安達地方市町村議会議長会要望活動
	24	福島県市議会議長会実行運動
	26	安達地方広域行政組合議会7月定例会
	26	安達地方広域行政組合議会議員全員協議会
	27	福島地方水道用水供給企業団議会7月臨時会
	27	福島地方水道用水供給企業団議会議員全員協議会
	30	安達地方市町村議会議長会総会
	30	安達地方市町村議会議長会視察研修（～31日）
8.	6	安達地方市町村議会議長会要望活動
	21	議員協議会
	21	にほんまつ市議会だより編集委員会
	24	山口県光市議会会派行政視察受入
	31	議会運営委員会
	31	会派代表者会
	31	にほんまつ市議会だより編集委員会
9.	4	平成24年第6回（9月）定例市議会開会
	4	議員協議会
	13	会派代表者会
	18	決算審査特別委員会（～25日）
	21	議会運営委員会
	25	議会運営委員会
	25	平成24年第6回（9月）定例市議会閉会
	25	議員協議会
	27	にほんまつ市議会だより編集委員会

みんなで徹底しよう 「三ない運動」

政治家は有権者に寄附を

贈らない！

有権者は政治家に寄附を

求めない！

政治家から有権者への寄附は

受け取らない！

寄附には次のものも含まれます。

- ・ 病気見舞い
- ・ 町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ
- ・ お祭りへの寄附や差し入れ
- ・ 秘書等が代理で出席する場合の結婚祝
- ・ お歳暮やお年賀
- ・ 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ
- ・ 入学祝・卒業祝
- ・ 秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典
- ・ 葬式の花輪・供花
- ・ 落成式・開店祝の花輪

◎政治家（候補者、候補者になろうとする者、現に公職にある者）が選挙区内にある者に対して寄附をすることは、その時期や名義のいかんを問わず禁止されており、罰則の対象となります。

お知らせ

◎次回の定例会は12月上旬開会の予定です。皆様お気軽に傍聴においでください。

◎市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

あて先 〒964-8601 二本松市金色403-1

市議会だより編集委員会

TEL 55-5143（議会事務局）

FAX 22-6047

E-mail shomu@city.nihonmatsu.lg.jp

編集後記……………

秋の収穫期を迎え、米、リンゴなどの果樹、野菜が豊かに稔りました。しかし心から豊作を喜び感謝する気持ちに何となくならない。稲作の作付け制限の地域も方々にある。祭り囃子も鎮守御祭礼の幡も立っているのに浮き浮き感が沸き上がってこないのです。

東日本大震災や東京電力福島原子力発電所の爆発による放射能事故がまだまだ影響を残しているからです。住宅等の除染が一日も早く終了し、夢と希望のある日を願っております。

私たちが議会だよりの編集を担当しています。
よろしくお願いします。



委員長	高橋	正弘
副委員長	深谷	勇吉
	熊田	義春
	安斎	政保
	菅野	寿雄
	菅野	明均
	小林	均子
	平	敏子